

営業職・人事担当者・受付スタッフ女性に聞く、歯の白さに関する意識調査

黄ばんだ歯は人生にマイナスの影響しかもたらさない

歯が黄ばんでいるだけで人を3歳老けさせ、仕事も低評価、プライベートにも悪影響。

歯の白さに自信が持てると、生き方全般に自信が持てるようになる！

アンケートサイト「Qzoo」(<http://qzoo.jp/>)を運営する株式会社ゲイン(本社:東京都港区、代表取締役社長:岡田隆太郎)は会員を対象に「歯の白さに関する意識調査」を実施し、300名から回答を得ました。

●調査時期:2014年10月8日(水)~10月10日(金) ●調査方法:インターネット調査

●調査対象:20~40代の働く男女300名

うち、営業職 100名(男性50名/女性50名) 人事担当者 100名(男性50名/女性50名) 受付スタッフの女性 100名

歯が黄ばんでいるだけで、笑顔はくすみ、イメージは大きくダウン。

p2

◎歯が黄ばんでいると、「笑顔の輝きが減る」(84.3%)、「好きな人でも冷める・がっかりする」(73.0%)、「老けて見える」(71.3%)など、それだけで大きくイメージダウン。

◎歯が黄ばんでいると笑顔も台無しに。5人に1人(18.0%)は「100%」イメージダウンと回答。

黄ばんだ歯は、男性も女性も3歳老けさせる。

p4 p5

◎同じ顔の見た目年齢 白い歯の女性22.6歳 黄ばんだ歯の女性25.3歳 白い歯の男性28.1歳 黄ばんだ歯の男性31.2歳
同じ顔でも歯が黄ばんでいるだけで人の見た目は3歳老ける。

歯の黄ばみは、仕事にもマイナス。特に営業職は気にして行動。

p3

◎仕事ができない/一緒に仕事をしたくないと思う人の見た目の第3位が「歯が黄ばんでいる」(31.0%)こと。

◎職種別では営業職の人が最も歯の黄ばみを気にしている。歯の黄ばみは営業失格のレッテルになるかも(?)

人事・採用担当者も、同じ顔なら歯が白い人を採用したい！

p4 p5

◎同じ写真で歯の白い方を採用したいという人事・採用担当者は、女性の写真について92.9%、
男性の写真について86.0%存在。歯の白さが就活必勝条件に？

受付女性は意外にも自分の歯に自信がない。

p6 p7

◎自分の歯が「白い」と思うのは40.3%で、6割は「黄ばんでいる」(59.7%)と思っている。受付の女性が特に自信がない。

◎全体の8割(80.7%)が何らかのオーラルケアを行っているが、歯が白いと思う人ほど実践率も高く内容も豊富。

◎注目のホワイトニング成分「メタリン酸ナトリウム」。歯が白いと自負する人は、認知度も高く効果への期待度も大きい。

歯を白くすると仕事にもプライベートにもプラスの効果！

p8

◎歯が白い人は、人付き合いが「得意」(72.7%)で、友だちの数も「多く」(57.9%)、異性に「モテる」(67.8%)。

コミュニケーション能力も「高く」(70.2%)、「世渡り上手」(64.5%)で仕事も「デキる」(82.6%)、人生を謳歌する前向きな人。

◆本件に関するお問い合わせ◆

広報に関するお問い合わせ:株式会社ゲイン TEL:03-5776-2821 FAX:03-5776-2822

※データを転載・引用する場合は、Qzooが実施した調査であることを明記してください。

歯の黄ばみの人のイメージへの影響

歯が黄ばんでいるだけで、「笑顔の輝き」が大きく低下。

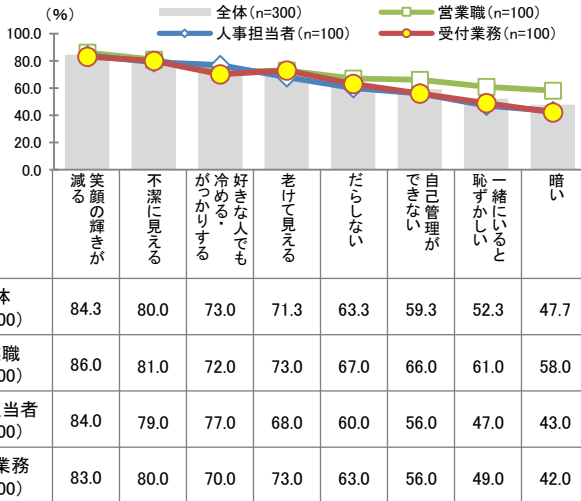
7割の人が笑顔の魅力が「半減」すると感じ、5人に1人は「100%」イメージダウン！

まず、歯が黄ばんでいる人にどのような印象を持つかを聞いてみました。「笑顔の輝きが減る」(84.3%)、「不潔に見える」(80.0%)、「好きな人でも冷める・がっかりする」(73.0%)、「老けて見える」(71.3%)、「だらしがない」(63.3%)、「自己管理ができない」(59.3%)、「一緒にいると恥ずかしい」(52.3%)などがあげられ、歯の黄ばみはそれだけでマイナスの印象を強く与えることが分かります[グラフ1]。

歯の黄ばみが最も影響する「笑顔の輝き」について、歯が黄ばんでいるとどの程度イメージダウンするかを聞くと、50%以上イメージダウンするという回答が合わせて7割(69.3%)となり、実に5人に1人(18.0%)は「100%イメージダウンする」と答えており、歯の黄ばみはせっかくの笑顔を台無しにしています[グラフ2]。

[グラフ1] 歯が黄ばんでいる人の印象

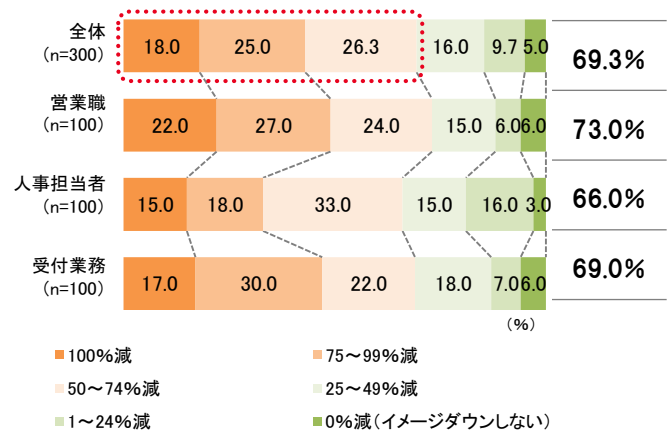
Q. 「歯が黄ばんでいる人」について、どんな印象をお持ちですか[S/A]



※回答値は4段階評価のTOP2「そう思う」+「どちらかというと思う」の合計値

[グラフ2] 歯の黄ばみによる笑顔の輝きのイメージダウン度

Q. 笑顔の輝きは「歯の黄ばみ」によってどの程度イメージダウンするかをお答えください[S/A]



50%以上
イメージ
ダウン

69.3%

73.0%

66.0%

69.0%

■ 100%減
■ 75~99%減
■ 50~74%減
■ 25~49%減
■ 1~24%減
■ 0%減(イメージダウンしない)

歯の黄ばみと仕事

歯が黄ばんでいると仕事ができない人と評価される。

派手な服装や姿勢の悪さ以上に、歯の黄ばみはビジネスにおけるダメージポイントに。

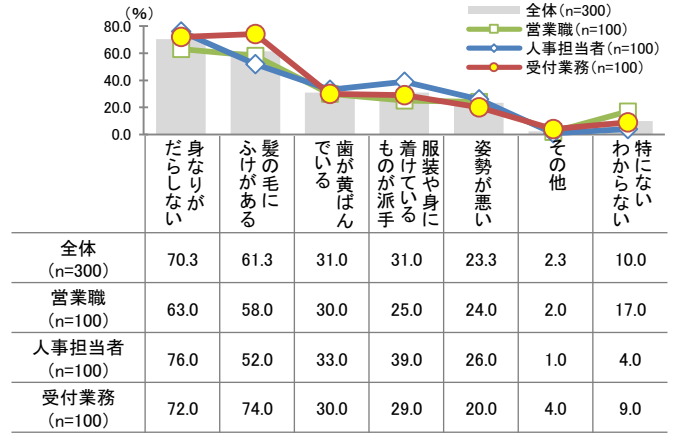
歯の黄ばみは仕事の評価にも大きく影響するようです。

「仕事ができない／一緒に仕事をしたくない」と思う人の見た目の条件を聞くと、第1位「身なりがだらしない」(70.3%)、第2位「髪の毛にふけがある」(61.3%)、第3位「歯が黄ばんでいる」「服装や身に付けているものが派手」(同率31.0%)の順となりました。

口元からのぞく歯の黄ばみは、たったそれだけで、ビジネスシーンにふさわしくない服装が与える印象と同じぐらいの大きなダメージとなっていることがわかります[グラフ3]。

[グラフ3]仕事ができない印象を与える見た目(Q6)

Q.あなたが「仕事ができない感じがする」「一緒に仕事をしたくない」と思うのはどんな見た目の人ですか[M/A]



営業職は商談やプレゼン時の歯の黄ばみを特に気にする。

ビジネスシーンでの歯の黄ばみは、営業失格につながる可能性大！

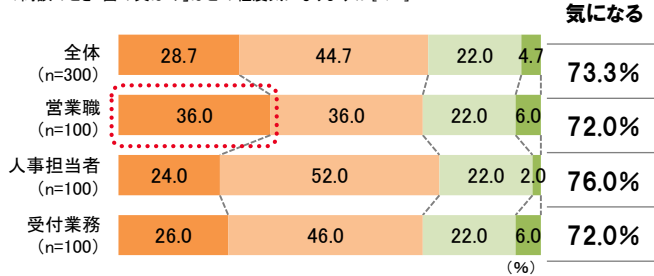
職種別にみると、歯の黄ばみは特に営業職の人が気にしています。仕事のシーンごとに、歯の黄ばみが気になる度合いを聞いたところ、「商談のとき」は「気になる」のは全体では28.7%ですが、営業職で36.0%と高めです[グラフ4-1]。

また、「大勢の人前で話す」(プレゼンテーション)についても、全体では「気になる」は29.7%ですが、営業職は37.0%と特に高くなっています[グラフ4-2]。

自分が気になるということは、相手の歯の黄ばみも気になるということ。歯の黄ばみのせいで、商談やプレゼン以前にお断り！という事態を招く結果になるかもしれません。

[グラフ4-1]商談時に気になる歯の黄ばみ

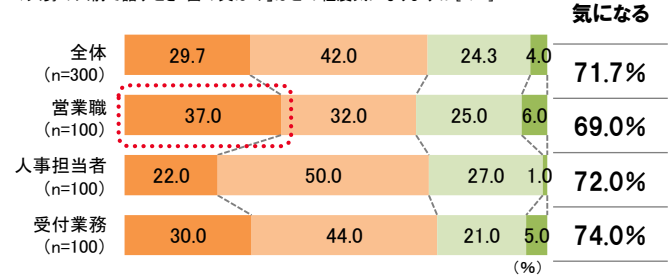
Q.商談のとき「歯の黄ばみ」はどの程度気になりますか[S/A]



■気になる ■やや気になる ■あまり気にならない ■気にならない

[グラフ4-2]プレゼンテーション時に気になる歯の黄ばみ

Q.大勢の人前で話すとき「歯の黄ばみ」はどの程度気になりますか[S/A]



■気になる ■やや気になる ■あまり気にならない ■気にならない

歯の黄ばみと顔の印象(男性から見た女性の顔の印象)

歯の黄ばみは女性を2.7歳老けさせる。同じ笑顔でもくすんで見え、モテないしかわいくもない。人事・採用担当者の92.9%が白い歯の人を採用したいと回答！

[グラフ1]では7割以上の方が歯が黄ばんでいる人の印象を「老けて見える」(71.3%)と回答しましたが、実際にどれくらい老けて見えるのかを調べてみました。調査対象の男性100名に対し、同じ女性の顔写真を2枚提示、何歳に見えるか聞いたところ、歯が白いAの顔写真は平均22.6歳という回答だったのに対し、歯が黄ばんでいるBの顔写真は平均25.3歳となり、歯が黄ばんでいるだけで2.7歳も老け顔に見られることがわかりました[写真1]。

また、「笑顔が輝いている」など人の印象をあらわす14項目をあげ、〈A〉と〈B〉の写真どちらに軍配があがるかを聞いたところ、全ての項目で歯が白い〈A〉の顔の方が圧倒的に評価される結果となりました。「笑顔が輝いている」(98.0%)を筆頭に、「モテそう」(96.0%)、「信頼できる」(95.0%)、「親しみやすい」「清潔感がある」「きれい・かわいい」(同率94.0%)と絶賛。人事・採用担当者からは「採用したい」(92.9%)という回答が集まるなど、白い歯は就職にも有利です[グラフ5]。

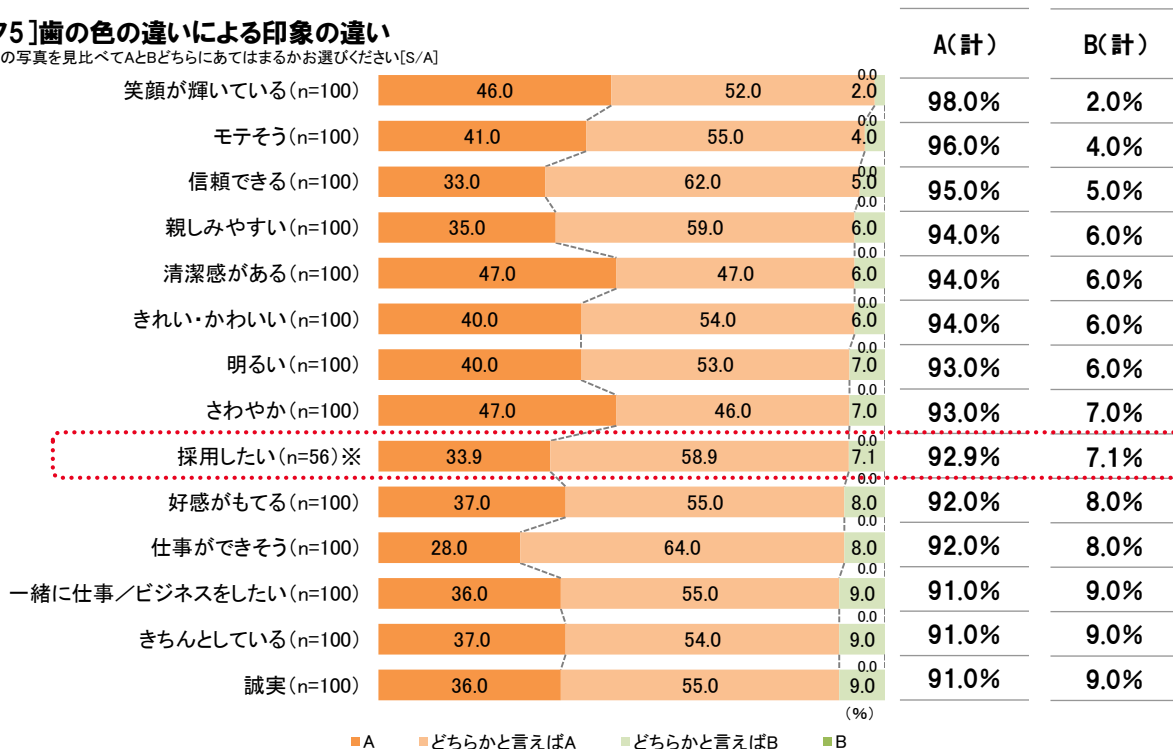
[写真1]歯の色の違いによる見た目年齢(Q10)

Q.写真の人物は何歳くらいに見えますか[N/A]



[グラフ5]歯の色の違いによる印象の違い

Q.【A】【B】の写真を見比べてAとBどちらにあてはまるかお選びください[S/A]



n=男性の営業職、人事担当者の各50人・計100人(受付業務は女性のみなので含まない)

※「採用したい」のn数は、人事担当者50人と営業職で採用に関わる6人の56人の男性が対象

歯の黄ばみと顔の印象(女性から見た男性の顔の印象)

歯の黄ばみは男性の顔も3.1歳老けさせる。人事・採用担当者の86.0%が白い歯の人を採用したいと回答、男性の人事評価においても重要な要素に。

次に男性についても同様に、調査対象の女性200名に対し、同じ男性の顔写真を2枚提示して印象を聞きました。何歳に見えるかについては、歯が白いAの顔写真は28.1歳に見えるのに対し、歯が黄ばんでいるBの顔写真は31.2歳となり、歯が黄ばんでいるだけで3.1歳も老け顔に見られています。女性(2.7歳)の場合よりもさらに老け度が高いです[写真2]。

また、人の印象をあらわす14項目については、女性の場合と同様、全ての項目で歯が白い(A)の顔の方が圧倒的に評価が高い結果となりました。最もポイントが高いのは女性と同様「笑顔が輝いている」(96.0%)で、「さわやか」「カッコいい・イケメン」(同率95.0%)、「好感がもてる」(94.0%)、「清潔感がある」「一緒に仕事/ビジネスをしたい」「モテそう」(同率93.5%)などなど全て(A)に軍配。人事担当者からは(A)の方が「採用したい」(86.0%)とされるなど、白い歯は男性の就職にとっても重要です[グラフ6]。

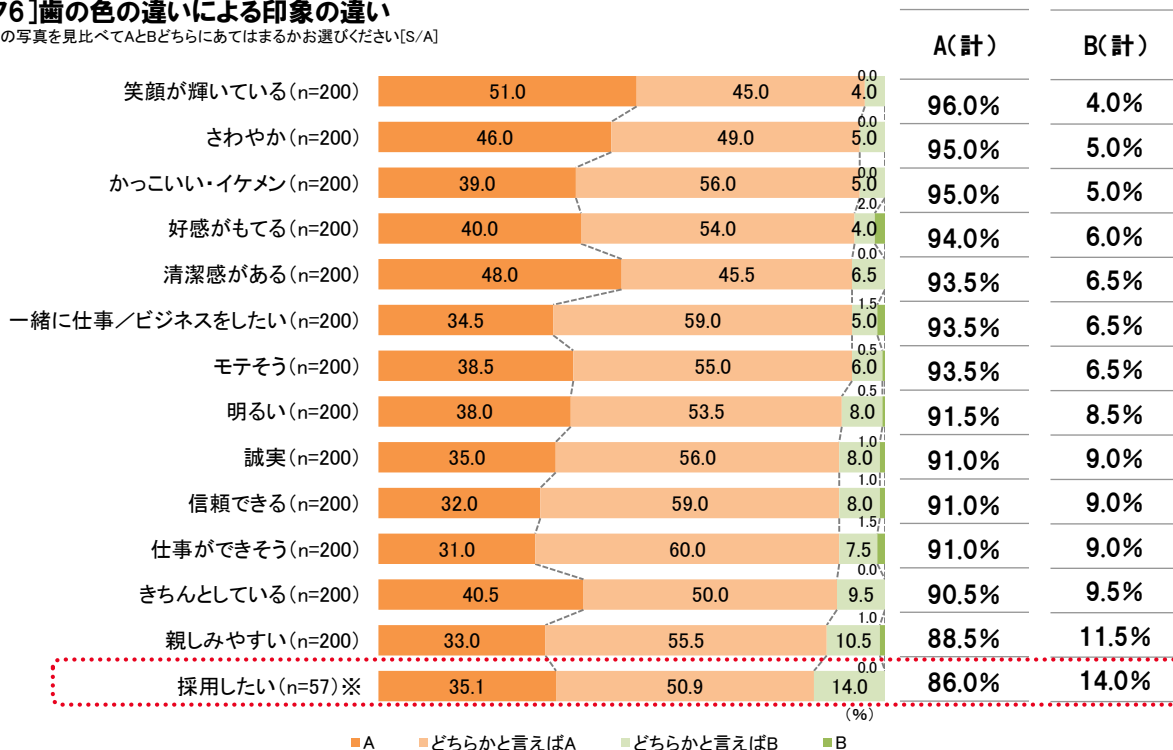
[写真2]歯の色の違いによる見た目年齢

Q.写真の人物は何歳くらいに見えますか[N/A]



[グラフ6]歯の色の違いによる印象の違い

Q.【A】【B】の写真を見比べてAとBどちらにあてはまるかお選びください[S/A]



N=女性の営業職、人事担当者の各50人と受付業務の100人の計200人

※「採用したい」のn数は、人事担当者50人と営業職で採用に関わる3人、受付業務で採用に関わる4人の57人の女性が対象

歯の白さとオーラルケア

社会人の6割は「歯が黄ばんでいる」と自認。特に受付女性は自信がない。

歯が白い人は、オーラルケアの実践度も高く内容も豊富

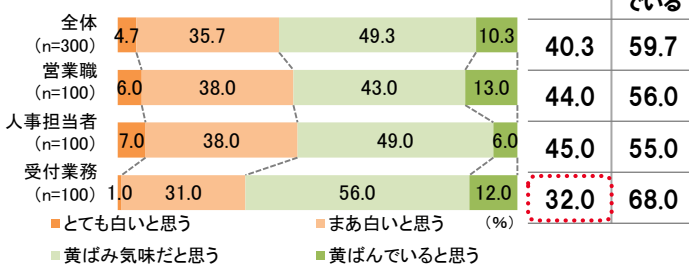
プライベートでもビジネスでも歯の白さが重視される現代。自分の歯がどの程度白と思うかを聞くと、「白と思う」との回答は4割(40.3%)で、6割(59.7%)は「黄ばんでいると思う」と回答しており、歯の白さには自信がない人が多いようです。

職種別に見ると、意外なことに、受付業務を行う女性が「白と思う」(32.0%)割合が最も低く、普段人に見られる職業だからでしょうか、特に自信のなさが表れた結果となっています[グラフ7]。

普段実践しているオーラルケアは、「デンタルフロス／歯間ブラシを使う」(32.0%)、「定期的に歯医者でクリーニングする」(29.3%)。「デンタルリンス(洗口液)を使う」(27.3%)、「常に歯ブラシを持ち歩く」(26.3%)、「ガムをかむ」(25.7%)、「歯の白さを意識して歯ブラシや歯磨き粉を選ぶ」(21.3%)などで、全体の8割(80.7%)が何らかのオーラルケアを行っています[グラフ8-1]。歯の白さ別に見ると、歯が白い人の方がオーラルケアの実施率が高く(歯が白い90.1%／歯が黄ばんでいる74.3%)、オーラルケアに積極的だからこそ、歯の白さを保てているようです[グラフ8-2]。

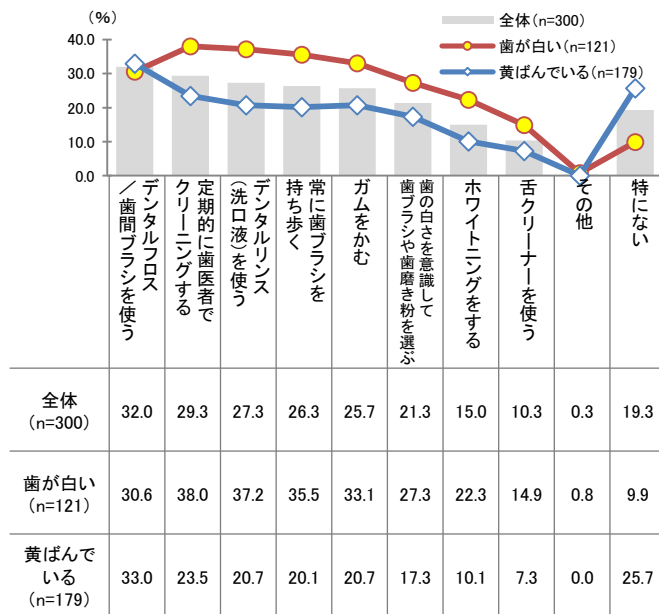
[グラフ7]自分の歯の白さ

Q.自身の歯はどの程度白と思いますか[S/A]



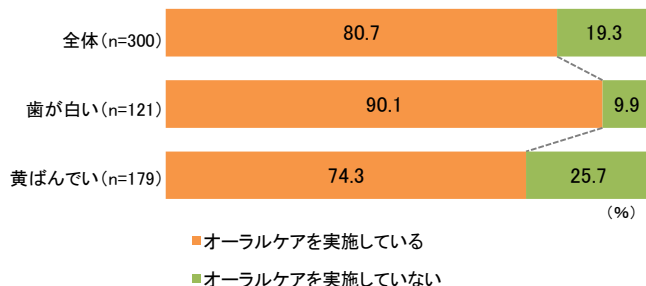
[グラフ8-1]実践しているオーラルケア

Q.ふだんオーラルケアとして何かしていることはありますか [M/A]



[グラフ8-2]オーラルケアの実施率

Q.ふだんオーラルケアとして何かしていることはありますか [M/A]



歯を白くする成分「メタリン酸ナトリウム」

注目のホワイトニング成分「メタリン酸ナトリウム」

一般的な認知はまだ低いものの、歯が白い人ほど認知度も高く、期待も大きい

歯科医でのホワイトニングにも使用されている歯を白くする成分「メタリン酸ナトリウム」。メタリン酸ナトリウムは、歯の表面についた色素沈着(ステイン)を除去する効果があり、食品添加物として認可されるほど安全性の高い成分です。

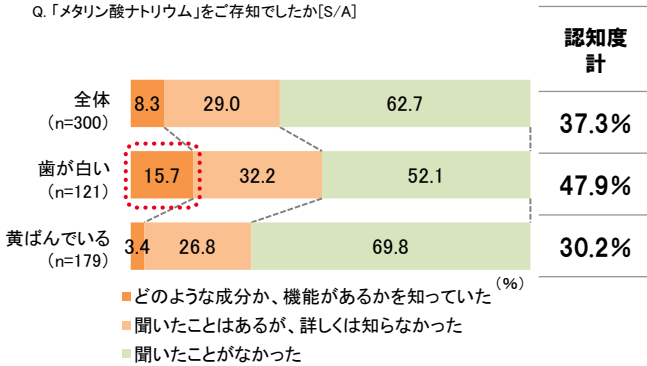
このメタリン酸ナトリウムの認知度をみると、6割以上(62.7%)の人が「聞いたことがなかった」と答えており、成分や機能まで「知っていた」のはわずか8.3%に過ぎませんが、歯の白さ別にみると、歯が白いと自負している人はメタリン酸ナトリウムの成分や機能まで知っている率が15.7%と高く、「聞いたことはあるが、詳しくは知らなかった」を合わせた認知度計も約半数(47.9%)と高くなっています。一方、歯が黄ばんでいる人は認知率も低く、約7割が「聞いたことがない」(69.8%)という結果となりました[グラフ9]。

次に、メタリン酸ナトリウムの機能を説明した上で、この成分を使った商品への評価について聞くと、77.7%が「効果がありそう」と評価しており、歯が白い人では81.8%と期待値がさらに高まります[グラフ10]。

歯が白い人は、歯に関する情報に関心が高いことがうかがえます。

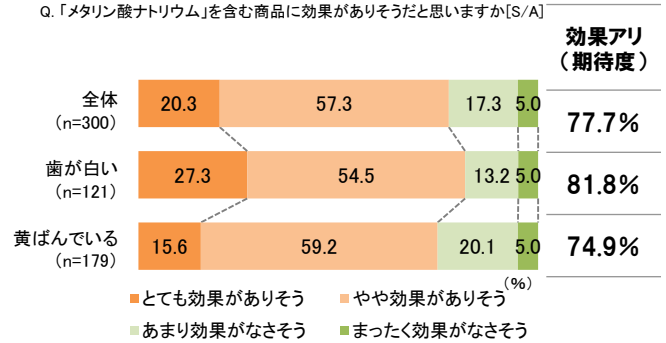
[グラフ9]メタリン酸ナトリウムの認知度

Q.「メタリン酸ナトリウム」をご存知でしたか[S/A]



[グラフ10]メタリン酸ナトリウムの評価

Q.「メタリン酸ナトリウム」を含む商品に効果がありそうだと思いますか[S/A]



歯の白さと自己実現

歯が白いと自信がつき、コミュニケーション能力が高く仕事もでき、モテ度も高い。

白い歯は人生を前向きにしてくれる特效薬！

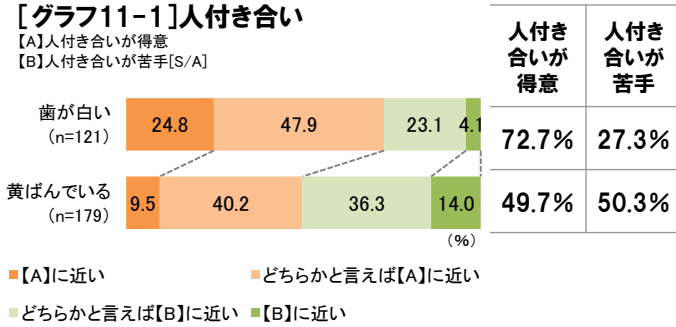
最後に、コミュニケーション能力や仕事などの能力について歯の白い人と黄ばんだ人を比較したところ、歯が白い人の方が歯が黄ばんでいる人より全ての項目で能力が高い、という結果になりました。

人付き合いは、歯が白い人の72.7%が「得意」なのに対し、歯が黄ばんでいる人は49.7%と半数以下[グラフ11-1]で、友だちの数も歯が白い人は約6割が「多い」(57.9%)のに対し、黄ばんでいる人は「少ない」(62.0%)が6割以上[グラフ11-2]。人付き合いが得意で友だちも多い歯が白い人は、当然のことながら異性に「モテる」(67.8%)方で、コミュニケーション能力も「高い」(70.2%)と自負しています[グラフ11-3.4]。さらに、歯が白い人は「世渡り上手」(64.5%)で仕事も「できる」(82.6%)という結果となっています[グラフ11-5.6]。

以上の結果から、歯が白い人は人生を楽しむライフスタイルを実践しているようです。今回の調査では歯が黄ばんでいると仕事できないふうに見られ、イメージダウンも大きく、老けた印象を与えがちなのが分かりましたが、その結果、人付き合いが苦手で友だちも少なく、世渡り下手になってしまうのかもしれない。歯を白くすることが、前向きな人生の第一歩になると言えそうです。

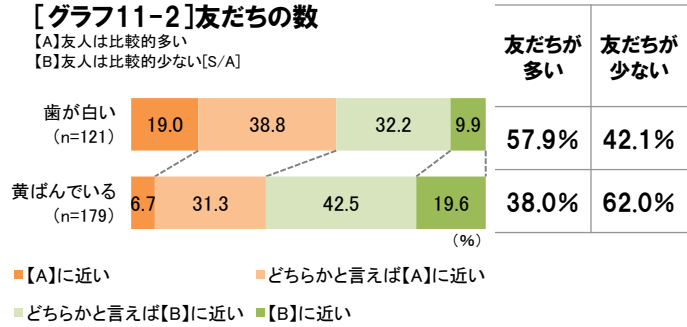
【グラフ11-1】人付き合い

【A】人付き合いが得意
【B】人付き合いが苦手[S/A]



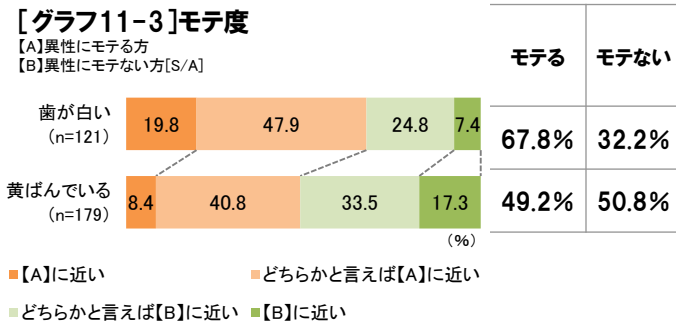
【グラフ11-2】友だちの数

【A】友人は比較的多い
【B】友人は比較的少ない[S/A]



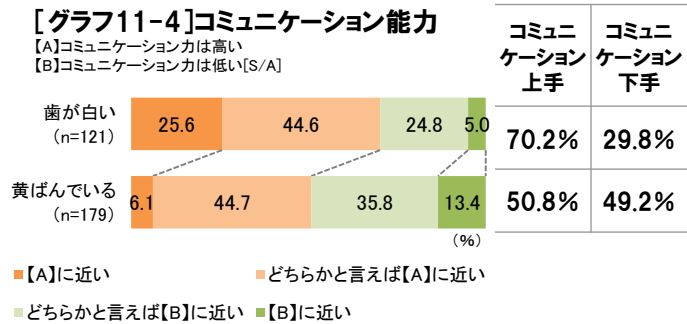
【グラフ11-3】モテ度

【A】異性にモテる方
【B】異性にモテない方[S/A]



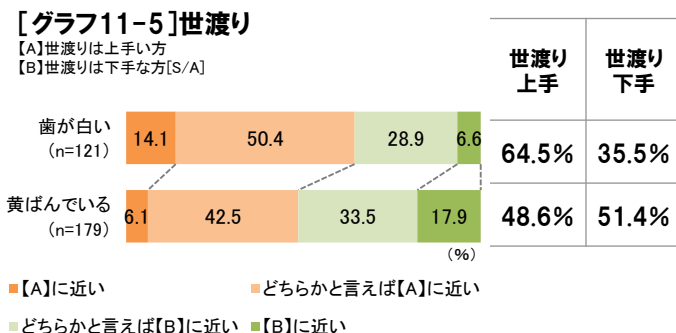
【グラフ11-4】コミュニケーション能力

【A】コミュニケーション力は高い
【B】コミュニケーション力は低い[S/A]



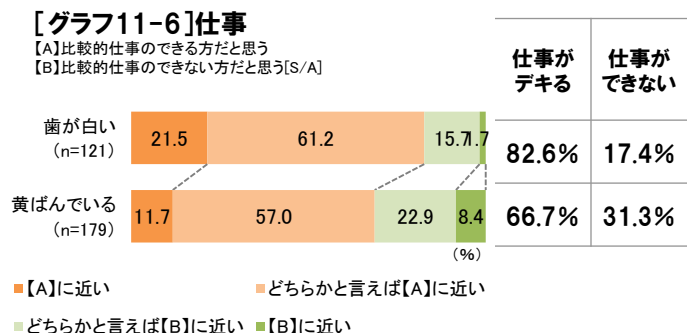
【グラフ11-5】世渡り

【A】世渡りは上手い方
【B】世渡りは下手な方[S/A]



【グラフ11-6】仕事

【A】比較的仕事のできる方だと思う
【B】比較的仕事のできない方だと思う[S/A]



◆◇◆ 調査実施会社概要 ◆◇◆

株式会社ゲイン

本社所在地:東京都港区芝公園1-3-8 苔香園ビル6F

代表取締役社長:岡田隆太郎

設立:1991年4月

資本金:10,440万円

事業内容:インターネットマーケティングリサーチ

URL:<http://www.gain-www.com/>

運営サイト:Qzoo(<http://qzoo.jp/>)